

「免許状更新講習」

～この体験が生きる力を育てる～

- ◆期 日 平成24年10月13日(土), 14日(日), 20日(土)
- ◆会 場 国立能登青少年交流の家
- ◆対 象 小学校教諭 30名(中学校・高等学校教諭も可)
- ◆参加者 6名(小学校教諭2名, 中学校教諭1名, 社会教育施設職員1名, 非常勤講師2名)
- ◆講 師 村井万寿夫(金沢星稜大学教授)
池田幸應(金沢星稜大学教授)
井上好人(金沢星稜大学教授)
三階 康(金沢海上保安部警備救難課専門官)
国立乗鞍青少年交流の家企画指導専門職
国立能登青少年交流の家主幹・事業推進係長
- ◆主 催 金沢星稜大学
- ◆共 催 国立能登青少年交流の家

1 趣 旨

教員が、学習指導要領改訂で示された児童・生徒の「体験活動」の必要性について一層の理解を深め、またその実習体験をすることにより、教育内容の充実に資する。

2 ねらい

- (1) 新しい学習指導要領に示されている体験活動の必要性についての知識を深める。
- (2) 実習を行うことにより、体験活動の指導力を高める。
- (3) 体験活動を行う上での危機管理能力、安全に対する能力を高める。

3 日 程

《10/13(土)》

- 8:50 開講式、日程説明
- 9:00 講義「学習指導要領と体験活動」(井上好人教授)
- 11:10 講義・演習「体験学習法・人間コピー機」(主幹・事業推進係長)
- 13:10 講義・演習「体験学習法・トシくんのおつかい」(主幹・事業推進係長)
- 15:00 講義「体験活動と安全管理」(村井万寿夫教授)

《10/14(日)》

- 9:00 実習「火起こし体験と野外炊飯」
(主幹・事業推進係長, 国立乗鞍青少年交流の家企画指導専門職)

13:30 講義「水難救助講習・訓練」(三階康金沢海上保安部警備救難課専門官)

14:30 実習「いかだ体験」(主幹・事業推進係長)

《10/20(土)》

9:00 講義・実習「ポイントオリエンテーリング」(主幹・事業推進係長)

13:00 講義「体験活動の教育的意義」(池田幸應教授)

15:20 履修認定試験

16:20 閉講式

4 成果と課題

(1) 成果

- ・金沢星稜大学と当施設の共催で実施することにより、お互いの専門性を生かしながらスムーズにかつ効果的に実施することができた。
- ・新しい学習指導要領に示されている「体験活動」の必要性や重要性について参加者に理解してもらうことができた。
- ・体験活動を行う際の安全管理について、事故の実例を挙げた講義や、刃物や火を使った実習などで理解を深めることができた。
- ・体験学習法「人間コピー機」「トシくんのおつかい」や、火おこし体験などを実際に参加者が体験することにより、学校の教育現場ですぐに活用できることを実感してもらうことができた。(活動プログラムの普及)
- ・講義と実習や演習の日程をバランスよく組むことができたため、参加者にも好評であった。

(2) 課題

- ・申込締め切り日が実施日に近かったため、参加者への詳細発送が遅くなってしまい、参加者に不安を与えてしまった。今後は締め切りをもっと早めに設定し、詳細を早めに知らせる必要がある。
- ・大学との共催を行う上での事務的な作業が滞ってしまい、広報の時期が遅れてしまった。その結果、昨年度に比べ受講生が減少してしまった。



講義・演習「体験の実際：火おこし体験」



講義・演習「体験の実際：いかだ体験」